

2025年3月期 決算説明

株式会社 **バッファロー**

証券コード：6676（東証スタンダード、名証プレミア）

2025年 5 月

1 事業内容と業績（実績及び予想） P.2

2 経営推移と今後の方針 P.11

3 参考資料 P.24

1. 事業内容と業績（実績及び予想）

IT関連事業

PC周辺機器等
(トゥーコネク社除く)

ネットワーク



ストレージ



メモリ



サプライ



サービス



その他



Airdogシリーズ等
(トゥーコネク社)

空気清浄機



サーキュレーター扇風機



食品事業

シマダヤ株式会社の
株式分配型スピンオフにより
食品事業の業績寄与は
2025年3月期上期まで。

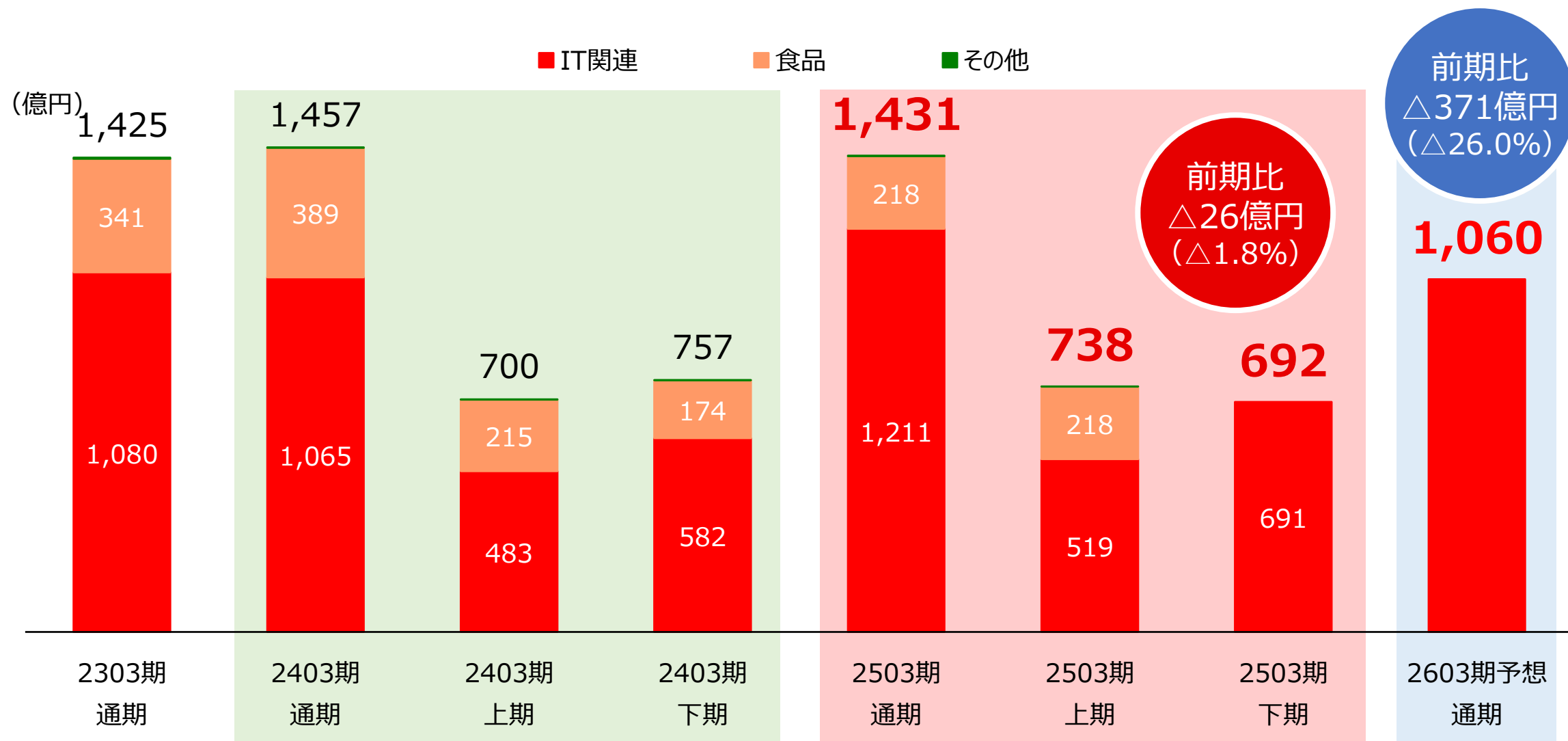
連結業績

● シマダヤ株式会社の株式分配型スピンオフにより、食品事業の業績寄与は2025年3月期上期まで。

単位：億円	2025年3月期		2026年3月期	
	通期実績	前年同期比 増減率	通期予想	食品事業除いた 前年同期比 増減率
売上高	1,431	△1.8%	1,060	△12.6%
営業利益	88	242.6%	45	△28.2%
経常利益	90	250.6%	45	△28.5%
親会社株主に帰属 する当期純利益	60	99.4%	32	△21.7%

連結売上高推移

- シマダヤ株式会社の株式分配型スピンオフにより、食品事業の業績寄与は2025年3月期上期まで。

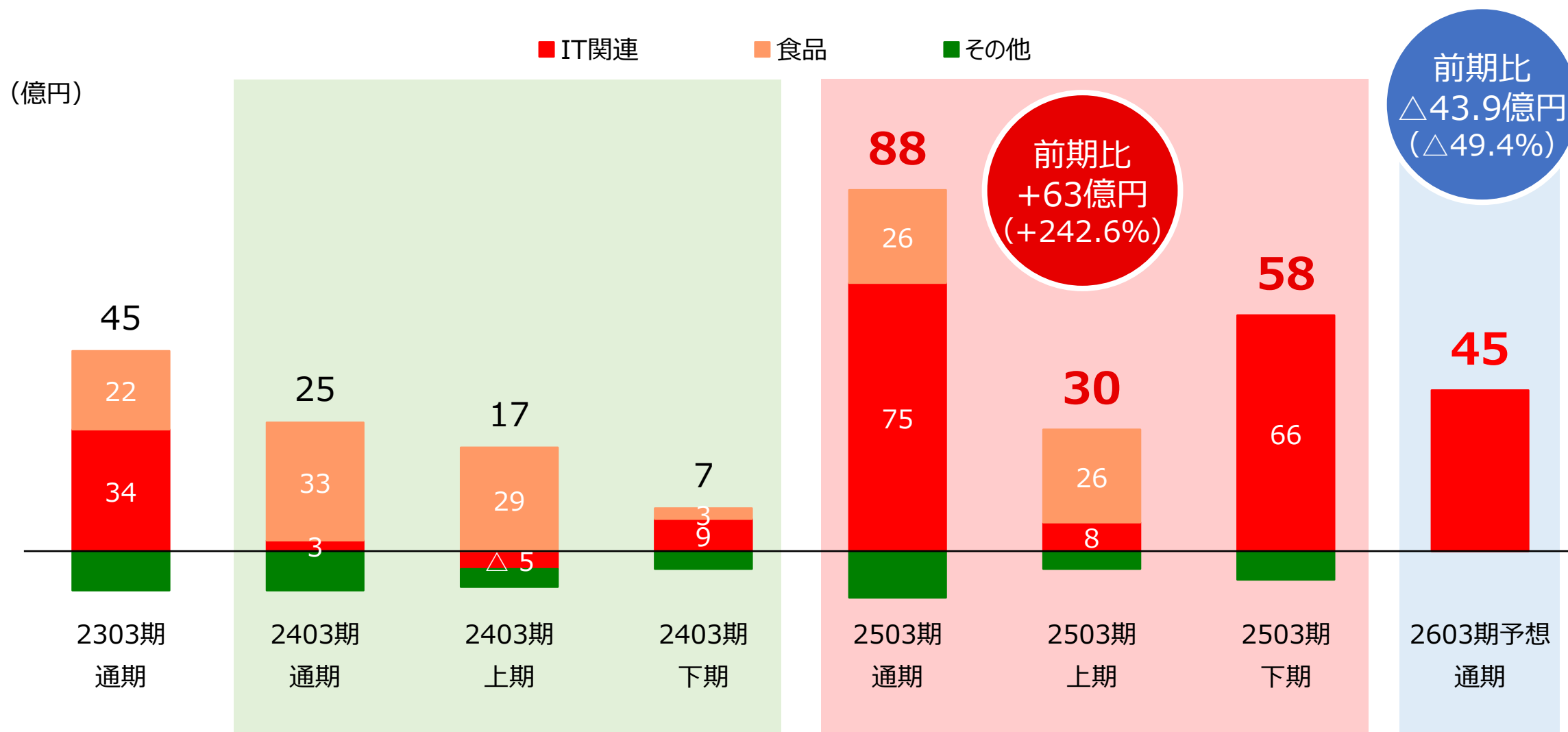


※億円未満は切り捨てて表示しております。

※「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、当社の全社管理機能を含んでおります。

連結営業利益推移

- シマダヤ株式会社の株式分配型スピンオフにより、食品事業の業績寄与は2025年3月期上期まで。



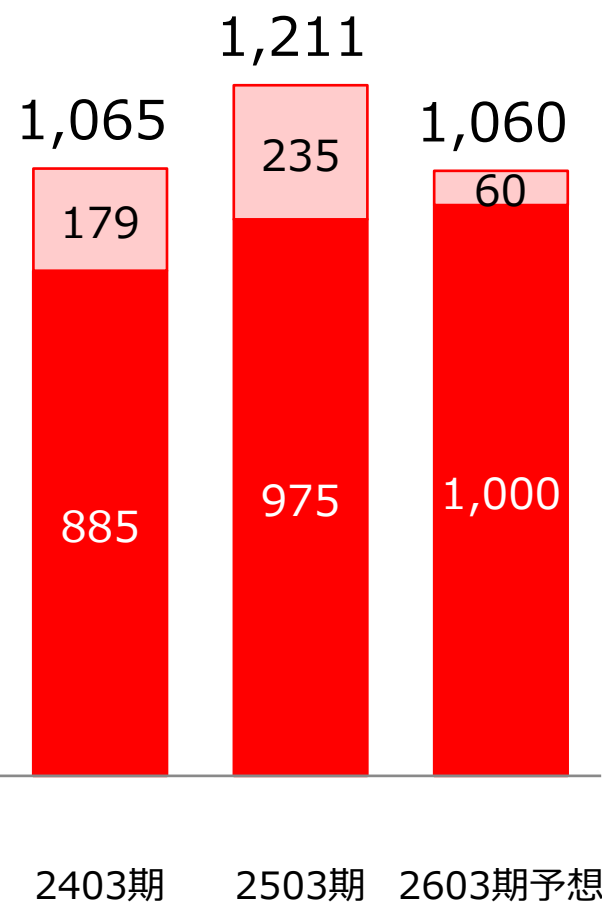
※億円未満は切り捨てて表示しております。

※「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、当社の全社管理機能を含んでおります。

IT関連事業：連結売上高・連結営業利益

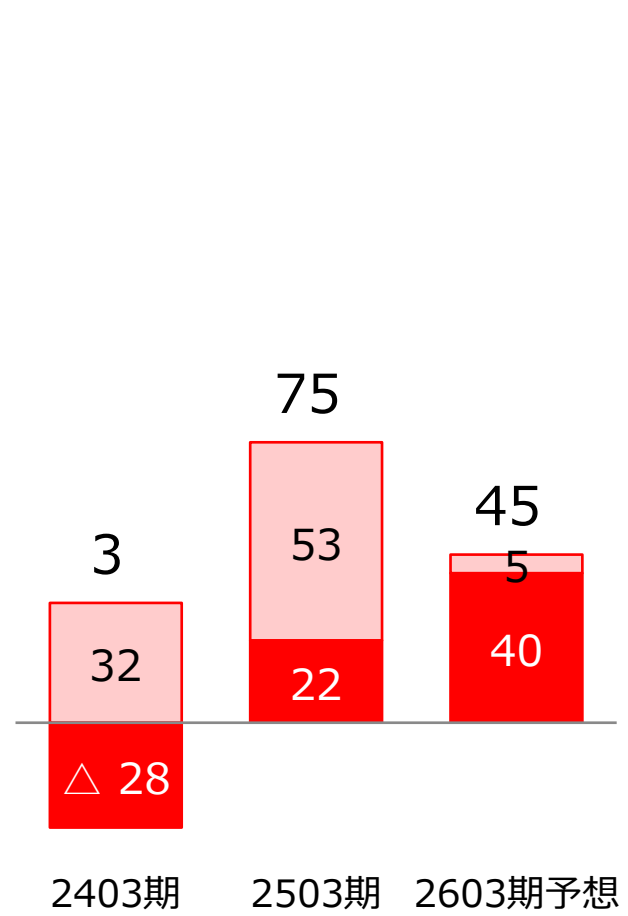
連結売上高

(億円) ■ Airdogシリーズ等(トゥーコネクト)
■ PC周辺機器等(トゥーコネクト除く)



連結営業利益

(億円) ■ Airdogシリーズ等(トゥーコネクト)
■ PC周辺機器等(トゥーコネクト除く)



PC周辺機器等(トゥーコネクト除く)

2025年3月期実績

- 国内需要の縮小、円安による原価高騰により厳しい市況の中、シェア維持に努め、値上げにより収益が改善
- CFD販売が国内総代理店を担っているAMD社製CPU「RYZEN」※の販売が想定以上に推移

2026年3月期予想

- 厳しい市況が継続することを想定（想定為替150円）、値上げの浸透及びコスト低減により収益改善を見込む

Airdogシリーズ等(トゥーコネクト)

2025年3月期実績

- 値上げ実施後も、アレルギー対策などブランディング活動により順調に推移
- 販売店である百貨店店舗数も増え台数増

2026年3月期予想

- トゥーコネクトによるAirdog売上は、2025年8月29日までの見込み

※億円未満は切り捨てて表示しております。
※AMD、Ryzen 及びこれらの組み合わせは、Advanced Micro Devices, Inc.の商標です。

IT関連事業：為替レート

方針

為替予約はレートの急激な変動を緩和する目的とし、長期為替予約はしない

2025年3月期実績

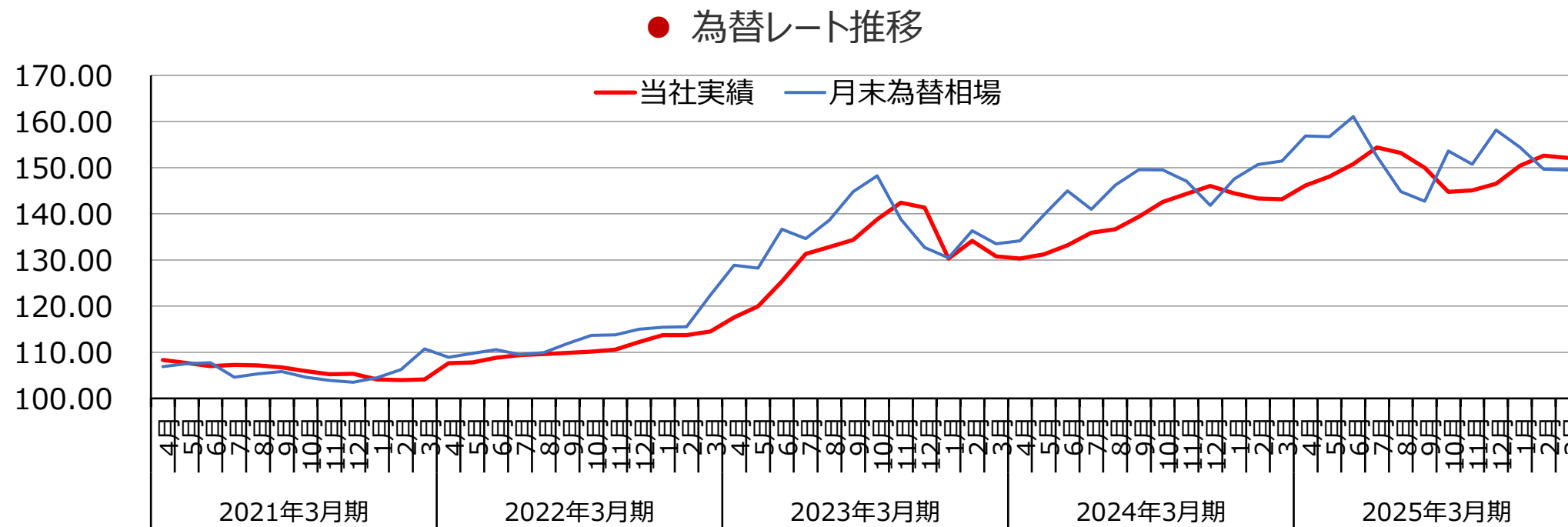
為替レート 149.15円

2026年3月期想定

為替レート 150.00円

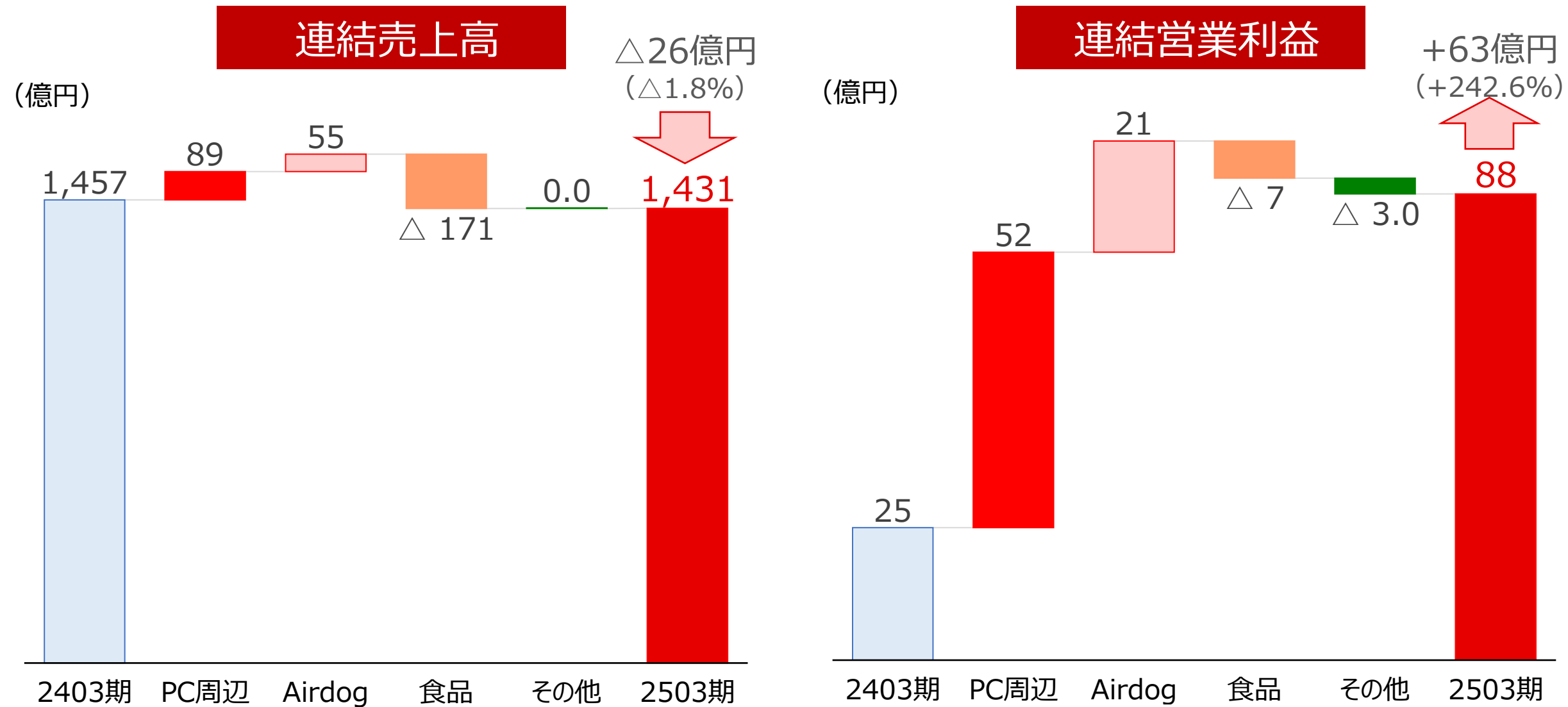
為替感応度

円高になった場合、営業利益＋約3億円/年



2025年3月期実績 前期比増減分析

● シマダヤ株式会社の株式分配型スピンオフにより、食品事業の業績寄与は2025年3月期上期まで。

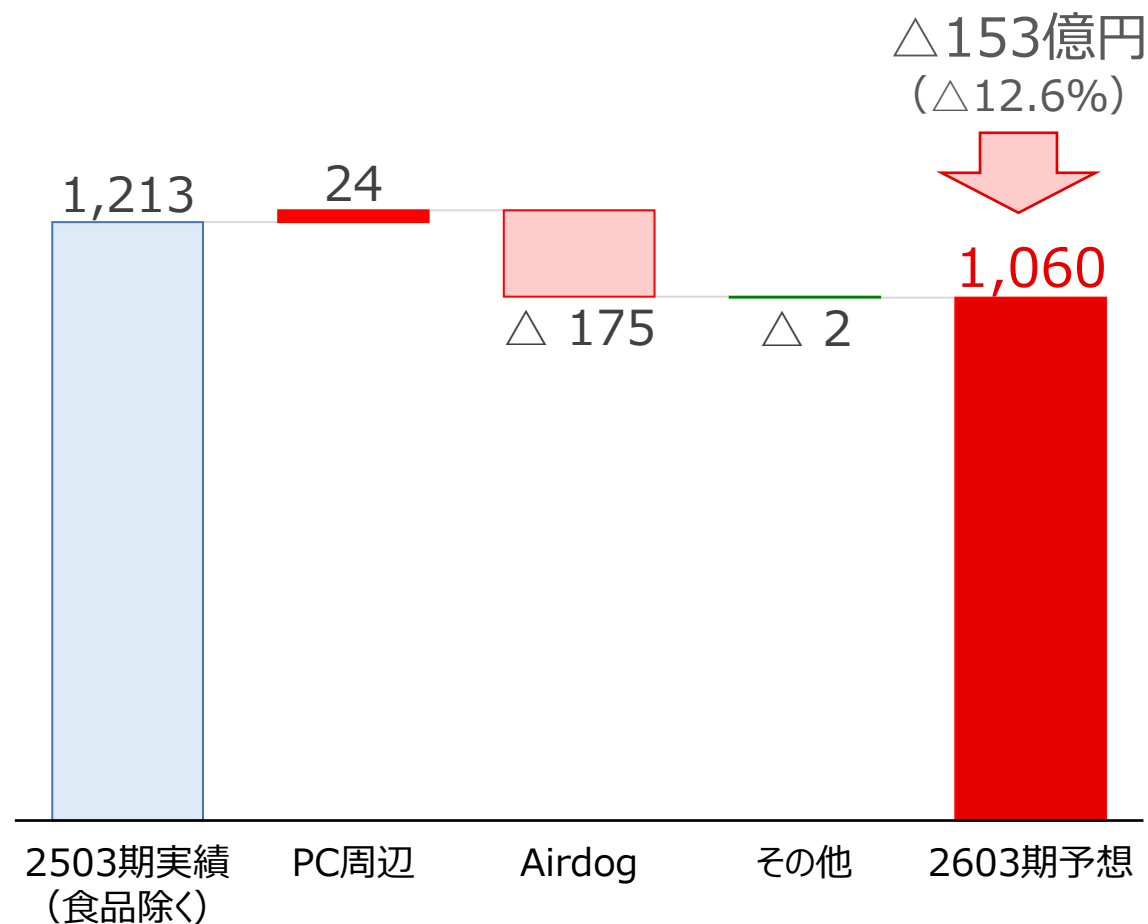


※億円未満は切り捨てて表示しております。
※「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、当社の全社管理機能を含んでおります。

2026年3月期予想 前期比増減分析（食品除く）

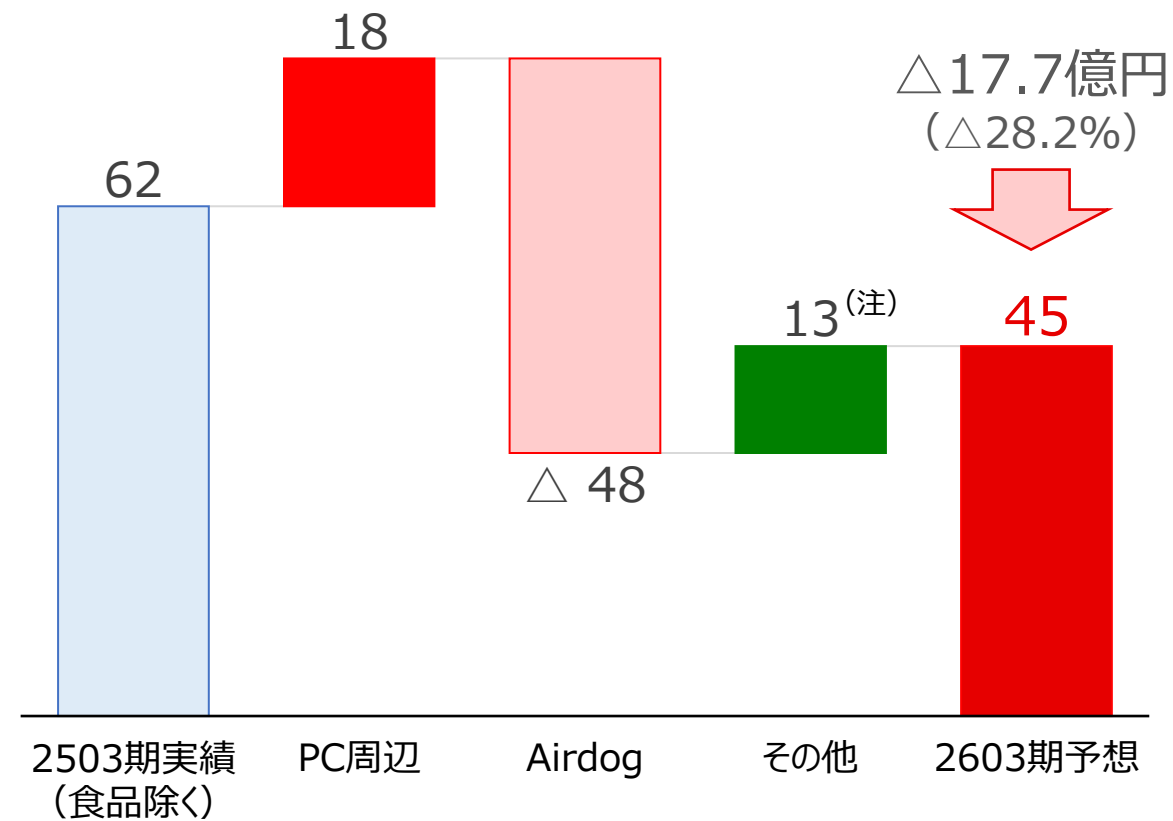
連結売上高

（億円）



連結営業利益

（億円）



（注）連結営業利益「その他」の13億円は、2503期実績△12.6億円、2603期予想0円の差分となります。
※億円未満は切り捨てて表示しております。
※「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、当社の全社管理機能を含んでおります。

2. 経営推移と今後の方針

創業50周年の歩み



BUFFALO
50th ANNIVERSARY

50周年
2025年



当社の近況

- | | | |
|---|----------|--|
| 1 | 2023年6月 | ● 監査・監督機能の強化のため、監査等委員会設置会社へ移行 |
| 2 | ～2024年3月 | ● コロナ渦中、安定供給重視し価格維持を推進 |
| 3 | 2024年4月 | ● バッファローブランド商品1,090型番を値上げ |
| 4 | 2024年10月 | ● シマダヤのスピンオフ・上場（スタンダード市場） |
| 5 | 2025年4月 | <ul style="list-style-type: none">● メルコホールディングスがバッファローを吸収合併しバッファローに商号変更、純粋持株会社から事業会社へ移行● 経営と業務執行の分離による迅速な業務執行のため、執行役員制度を導入● 企業価値の最大化に取り組む企業文化醸成のため、部局組織を構築 |
| 6 | 2025年5月 | ● 企業価値向上に向けた中長期のインセンティブ付与のため、譲渡制限付株式報酬制度の導入を定時株主総会に付議することを決議 |

経営コンセプト

2025年4月1日に事業会社バッファローとして出発したこと、2025年5月1日にバッファロー創業50周年を迎えるにあたり、創業の精神を基礎として、経営コンセプトを純粋持株会社体制となる前に戻す

旧メルコホールディングス 森の経営（＝収益源の分散）により企業体そのものが永続すること



新バッファロー

オリジナルな「価値」の創造（＝付加価値の創出）により持続的に成長し、ステークホルダーに分配すること

<経営コンセプト>

Original Value Creation （オリジナルな「価値」の創造）

- バッファローは事業領域をIT関連に集中
- IT関連業界の最大の構造的課題は技術革新、この技術革新の波に逆らわずに、オリジナルな「価値」の創造を繰り返していく

基盤事業の深化

PC周辺機器市場における収益の最大化

新規事業創出、事業領域の拡大

「エンジニアリング活動」を製品・サービスを通して提供

シナジーのあるM&A等の積極的な実施

注力テーマ

AIソリューション

ゼロトラスト ネットワーク

ジャパン ドミナイルシフト

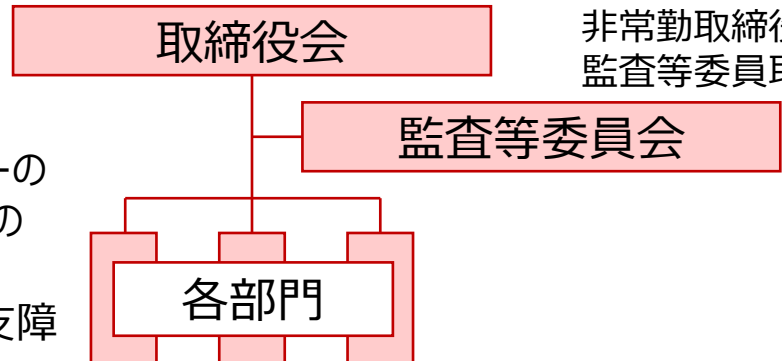
執行役員制度の導入

執行役員制度の導入
(2025年4月1日付)

経営と業務執行の分離による迅速な業務執行のため

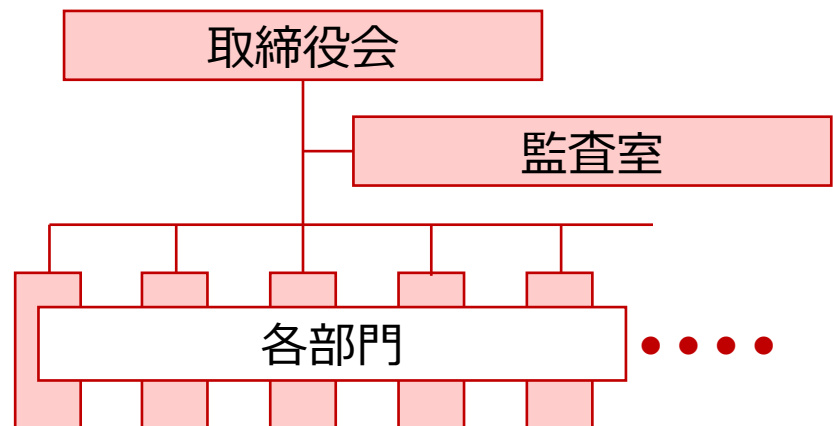
合併前

- 株式会社メルコホールディングス
 - 業務執行取締役 5名
 - 非常勤取締役 1名
 - 監査等委員取締役 4名



メルコHDとバッファローの取締役会決議事項の多くが重なり、迅速な意思決定に支障

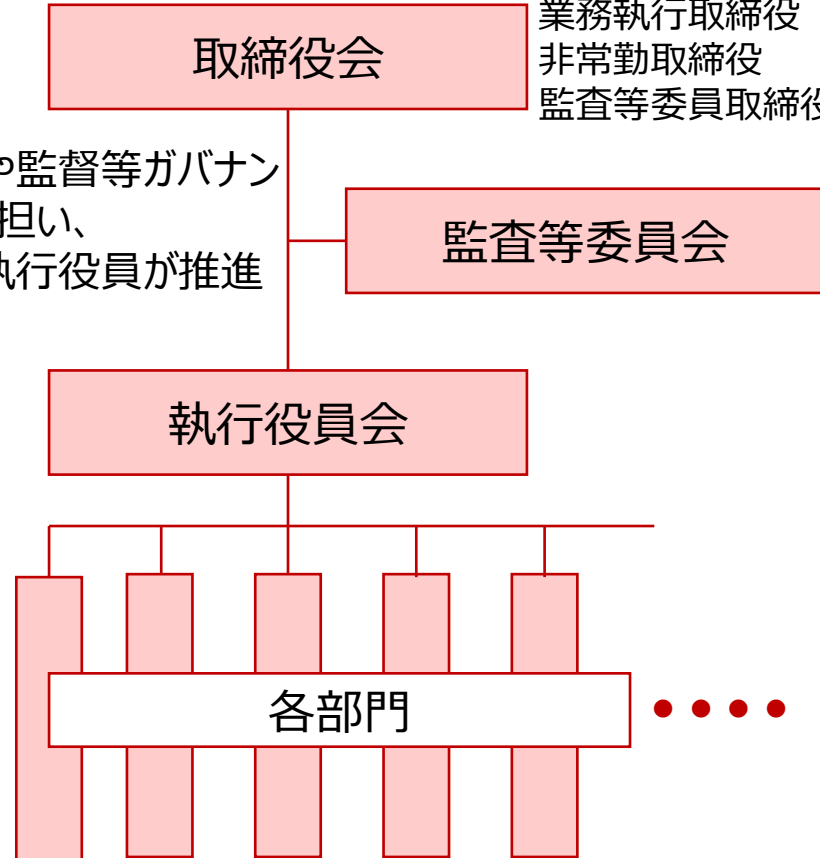
- 株式会社バッファロー



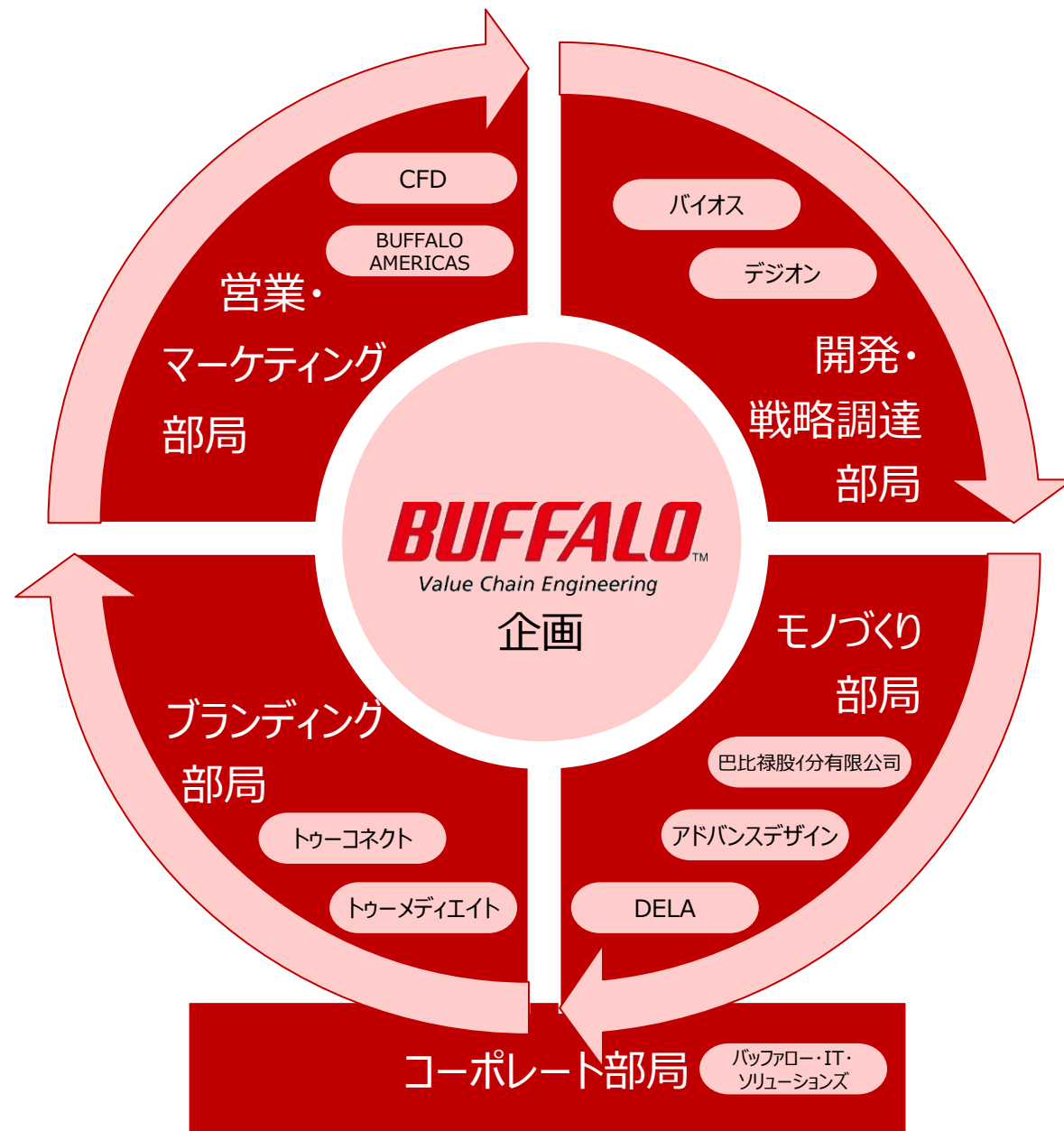
合併後

- 株式会社バッファロー 第39期定時株主総会にて承認予定
 - 業務執行取締役 2名
 - 非常勤取締役 1名
 - 監査等委員取締役 4名

経営戦略策定や監督等ガバナンスを取締役会が担い、業務執行等は執行役員が推進



部局組織の構築



部局組織の構築

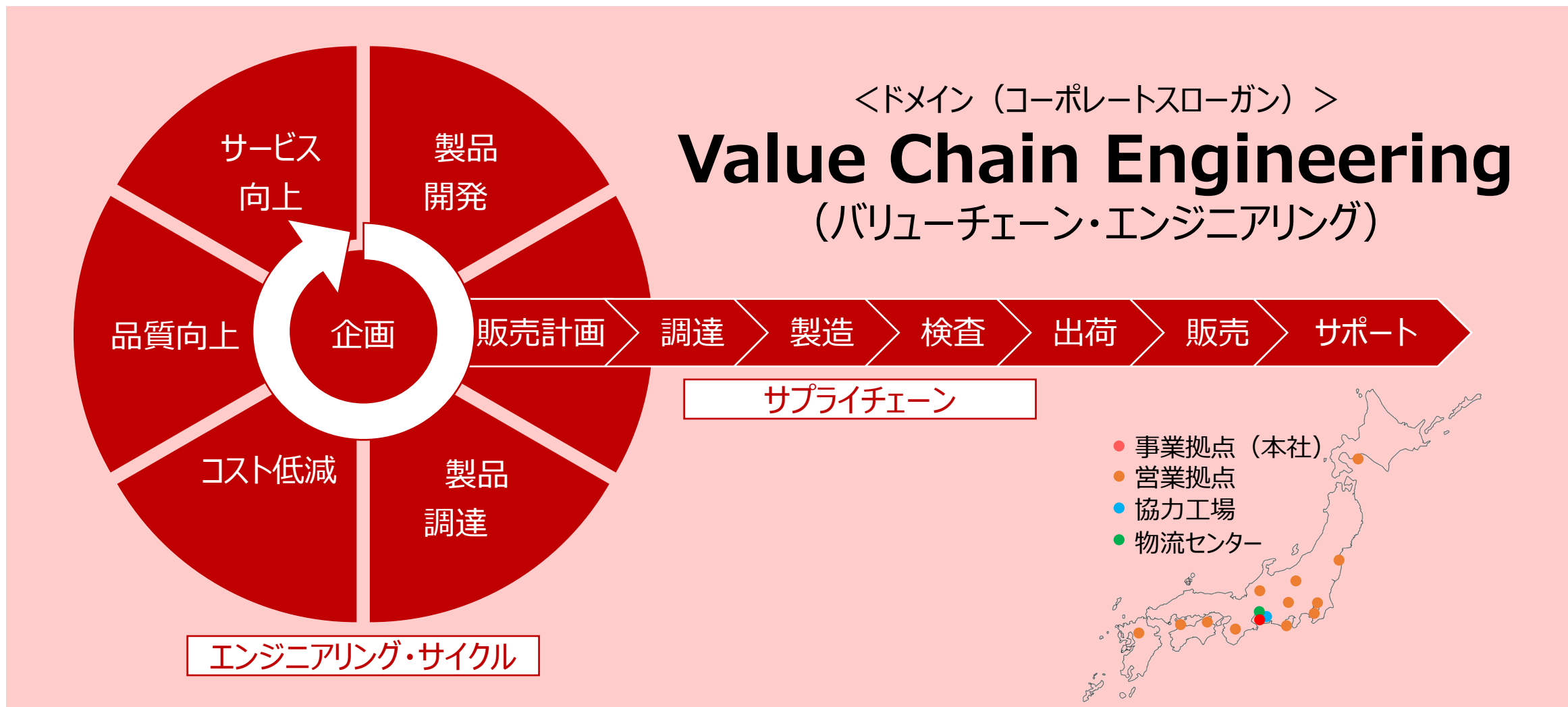
自律的に外部経済の獲得ができる単位

全社員が

企業価値の最大化に取り組む企業文化を醸成し、
当社グループ全体での付加価値額の向上を目指す

当社の強み：「Value Chain Engineering」

- 当社の強みは「エンジニアリング・サイクル」、これまでITハードウェアに関わるエンジニアリング活動を継続深化
- 情報技術は有形である製品にとどまらず、サービスやソリューションという無形の形でも流通するようになり、当社はエンジニアリング活動を通じ、付加価値創出を加速していく。



「Value Chain Engineering」の取り組みーコスト低減

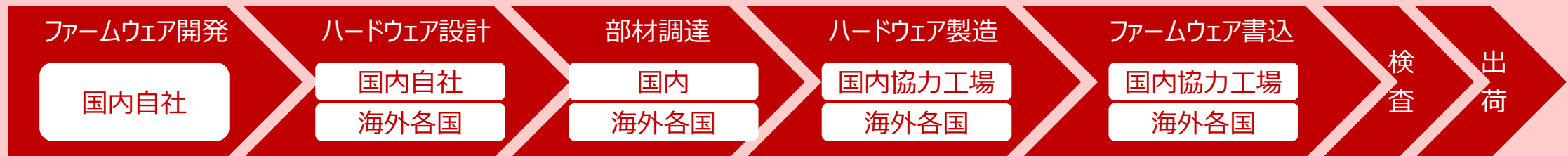
バリューチェーンの組み替えによりコスト低減

- 国内自社での開発
- 国内の製造拠点
- 戦略調達機能

これらの保持と深化により、バリューチェーンの組み替えが可能

バリューチェーンの組み替えイメージ

各チェーンに選択肢がある



Wi-Fi商品のコスト低減例



株式会社バッファローは株式会社セキユアと 2025年2月14日付で資本業務提携契約を締結



- セキユアが実施する第三者割当増資を引受ける方法により同社株式80万株を取得（本第三者割当増資後の所有議決権比率14.35%）
- 短期：コストシナジーの創出を協業の基盤、中長期：新規事業創出、事業領域の拡大に資する協業を目指す

第1階層

機能・インフラシナジー（短期）

両者の現行製品・オペレーションを前提としたシナジー

- ① 共同購買
- ② 施工・設置業務の集約
- ③ コンタクトセンター集約

第2階層

エンジニアリングシナジー（中期）

現行事業の製品・サービス・オペレーションの改善

- ① ストレージ・ネットワーク機器の共同開発
- ② キットティング・施工業務改善
- ③ 機器品質改善

第3階層

事業創造シナジー（長期）

共同での新サービス・新事業領域開拓

- ① 海外展開
- ② AIソリューション拡大

連結配当性向30～40%を目安

安定した配当等の株主還元を目指す

利益配分

株主への適正な利益還元と将来の事業展開に向けた内部留保の充実と調和をさせながら策定

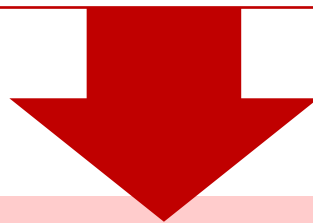
内部留保

中長期の視点に立ち、新事業・新製品の開発や市場競争力、及び財務体質の強化に活用

自己株式の取得

2025年5月9日に自己株式を取得

- 取得した株式の種類 当社普通株式
- 取得した株式の総数 250万株
- 取得価額の総額 52億円
- 取得日 2025年5月9日
- 取得方法 東京証券取引所の自己株式立会外買付取引（ToSTNeT-3）による買付



上記により、

当社は外国為替及び外国貿易法に基づく外国投資家に非該当となる見込み
今後、機動的な投資活動、事業活動に取り組む

2025年5月9日付 自己株式取得後の財務指標推移

財務指標	2025年3月期実績に基づく財務指標	2026年3月期予想に基づく財務指標 (2025年5月9日付 自己株式取得後)
EPS	383.99円	245.81円
ROE	11.0%	7.4%

算出条件

発行済株式数（株）	15,300,000	15,300,000
自己株式数（株）	94,538	2,594,538
期中平均株式数（株）※3月末時点	15,642,762 （注1）	13,017,962 （注2）
純資産（百万円）※剰余金配当含む	45,037	41,614
自己資本（百万円）※剰余金配当含む	45,037	41,614

（注1） 2024年9月27日付 自己株式消却163.7万株含む。
（注2） 2025年5月9日付 自己株式250万株取得後の自己株式数2,594,538株が、2026年3月末まで同株式数で継続するものとして試算。

3. 參考資料

トピックス：PC周辺機器の販売台数シェア



BCN AWARD
2025
15部門受賞

すべてのお客様に感謝を込めて

販売台数

No.1

BCN AWARD 2025 15部門受賞

無線LAN部門は23年連続
販売台数シェア1位！

「BCN AWARD 2025」にて15部門を受賞

株式会社BCNによる、全国の手家電量販店の実売データ集計に基づき、パソコン関連商品の年間（1月1日～12月31日）販売台数第1位のメーカーに対して表彰されるものです。



無線LAN部門
23年連続23回目
バッファロー



SSD外付部門
5年連続5回目
バッファロー



HDD外付部門
17年連続22回目
バッファロー



NAS部門
12年連続12回目
バッファロー



USBメモリ部門
5年連続12回目
バッファロー



USB部門
2回目
バッファロー



カードリーダ部門
3年連続10回目
バッファロー



記録型DVDドライブ
5年連続14回目
バッファロー



LANカード部門
26年連続26回目
バッファロー



HUB部門
24年連続25回目
バッファロー



ルータ部門
22年連続23回目
バッファロー



メモリ部門
14年連続14回目
CFD販売



拡張インターフェース部門
16年連続16回目
CFD販売



PC電源部門
14年連続14回目
CFD販売



ドライブケース部門
15年連続17回目
CFD販売

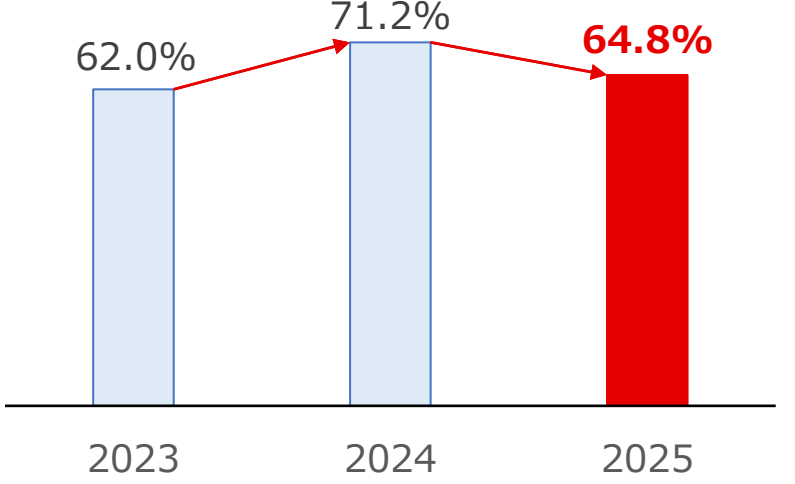
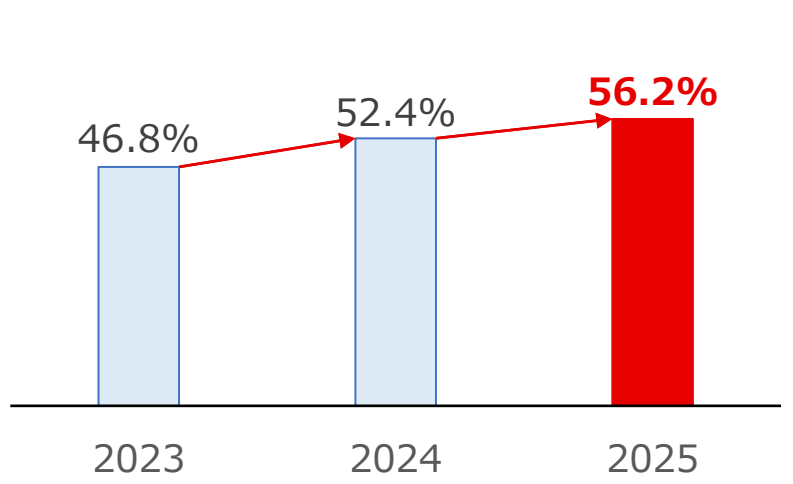
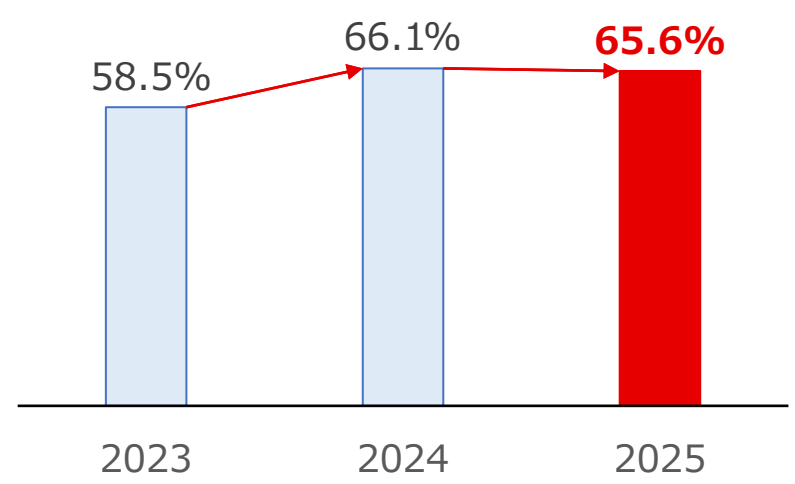
トピックス：主なPC周辺機器の台数シェア推移

集計期間 BCN AWARD2023（以下、2023）：2022年1月～2022年12月
BCN AWARD2024（以下、2024）：2023年1月～2023年12月
BCN AWARD2025（以下、2025）：2024年1月～2024年12月

外付けハードディスクドライブ部門

記録型DVDドライブ部門

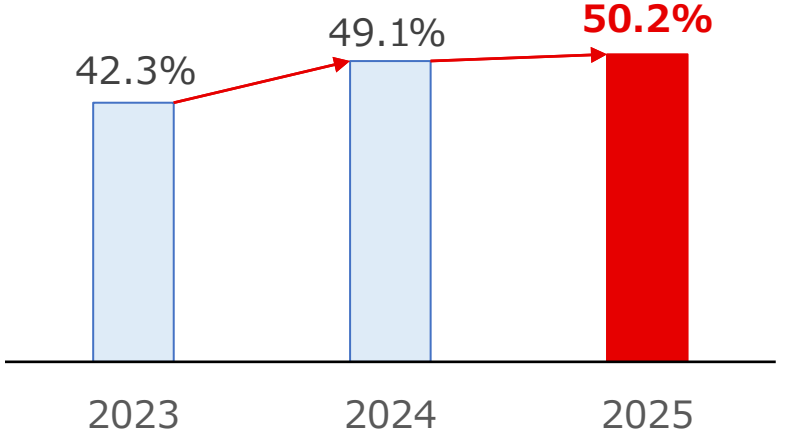
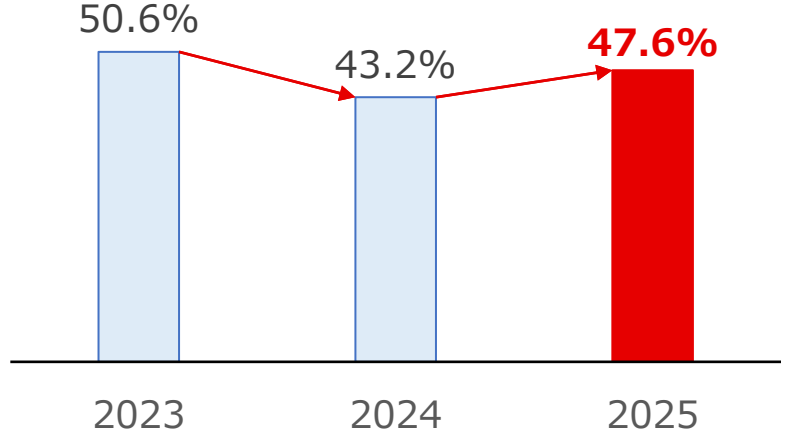
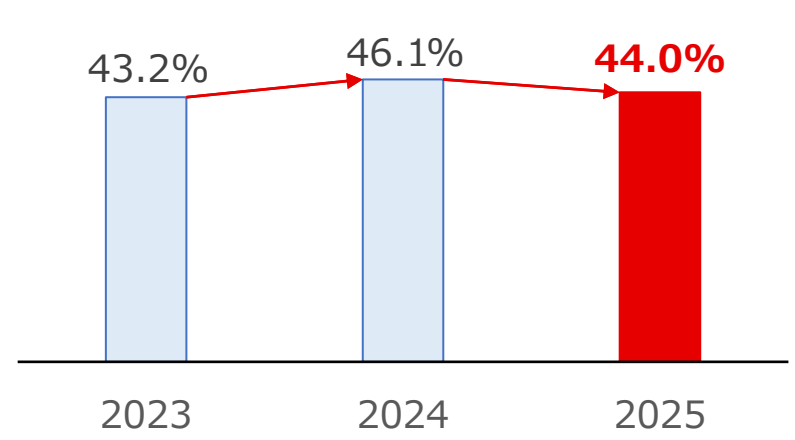
NAS部門



無線LAN部門

ルータ部門

カードリーダー部門

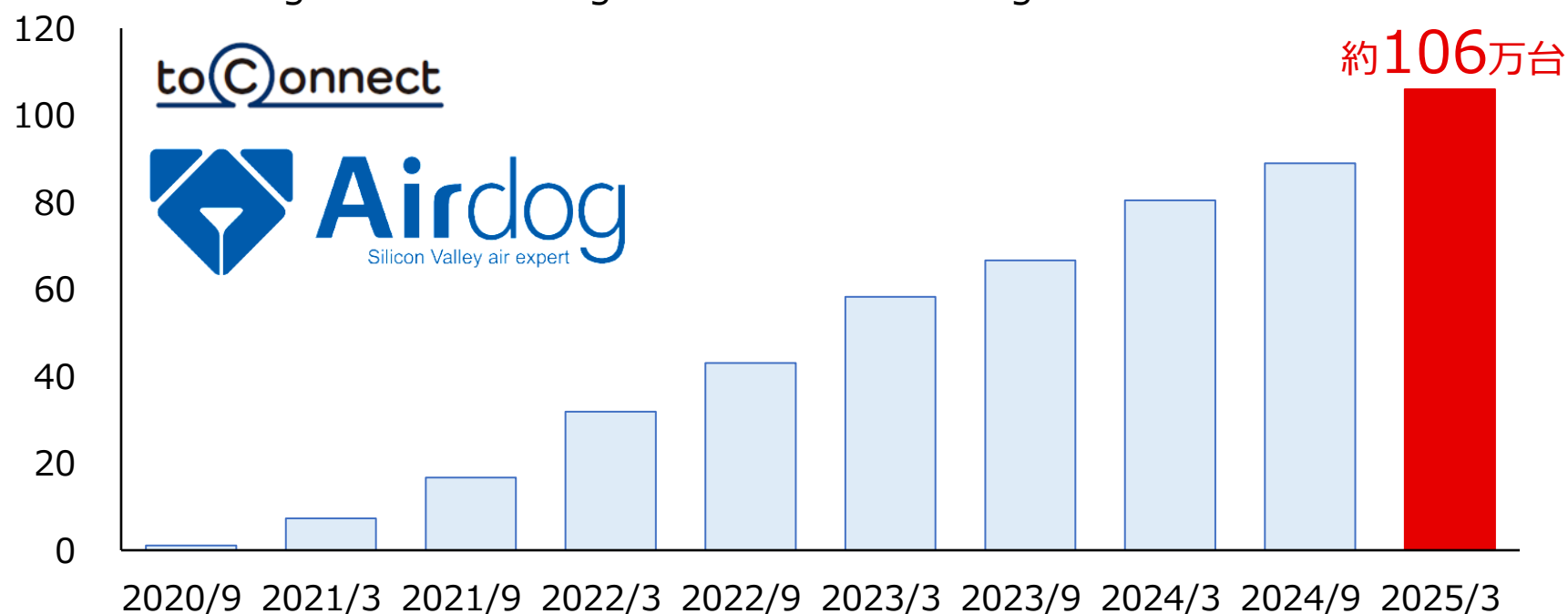


トピックス：「Airdog」シリーズの独占販売契約終了

高性能空気清浄機など「Airdog」シリーズの独占販売契約を 2025年8月29日を以って終了

- 当該メーカーとの協議の結果、2025年8月29日を以って国内の独占販売契約を終了
- 独占販売契約の終了後も二次代理店として当社グループ会社からの継続販売を予定

- Airdog Xシリーズ、Airdog mini、The Fan、Airdog moiの累計販売台数



Airdog Xシリーズ



Airdog



The Fan



Airdog moi



「DELA」ネットワークスイッチ ハイエンドモデル「S1」が 「Stereo Sound Grand Prix 2024」を受賞

DELATM



Stereo Sound Grand Prix 2024

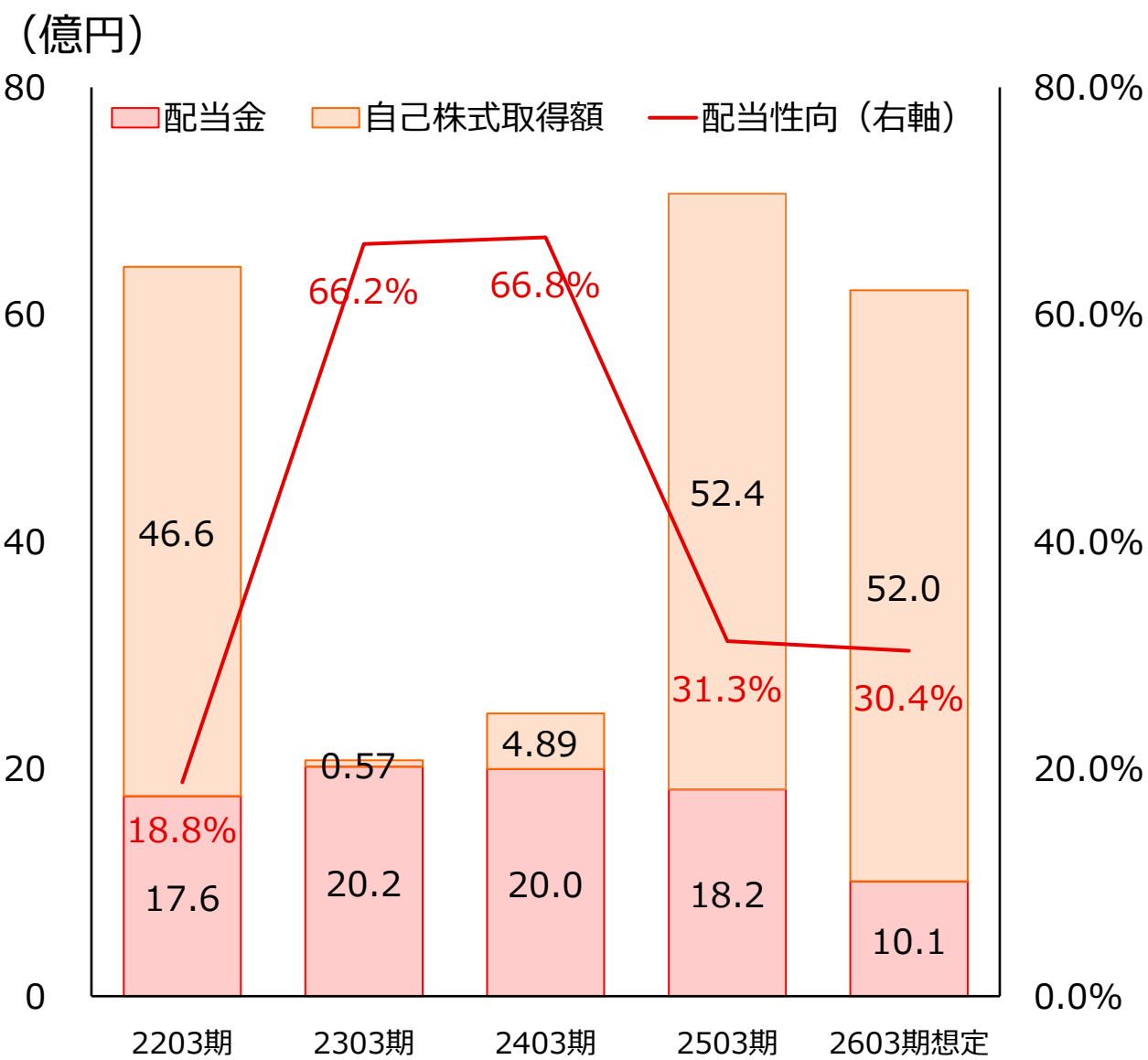


2024年11月発売 ネットワークスイッチ ハイエンドモデル「S1」

シルバー色 143万円、ブラック色 154万円（税込希望小売価格）

- 「DELA」とは、当社グループの音響機器及び関連製品の開発・販売会社である株式会社DELA（旧社名：メルコシンクレッツ株式会社）が高品質なオーディオ専用製品のために開発したブランド。

株主還元推移



※シマダヤ株式会社の株式の現物配当（株式分配型スピノフ）は株主還元には反映していません。
※2026年3月期の自己株式取得額は2025年5月9日時点の数値。
※億円未満は切り捨てて表示しております。

配当金

- 2025年3月期 期末配当 60円/株
内訳：普通配当40円＋創業50周年記念配当20円
（中間配当60円と合わせ年間配当120円）
- 2026年3月期 年間配当予想 80円/株
（中間配当40円、期末配当40円）

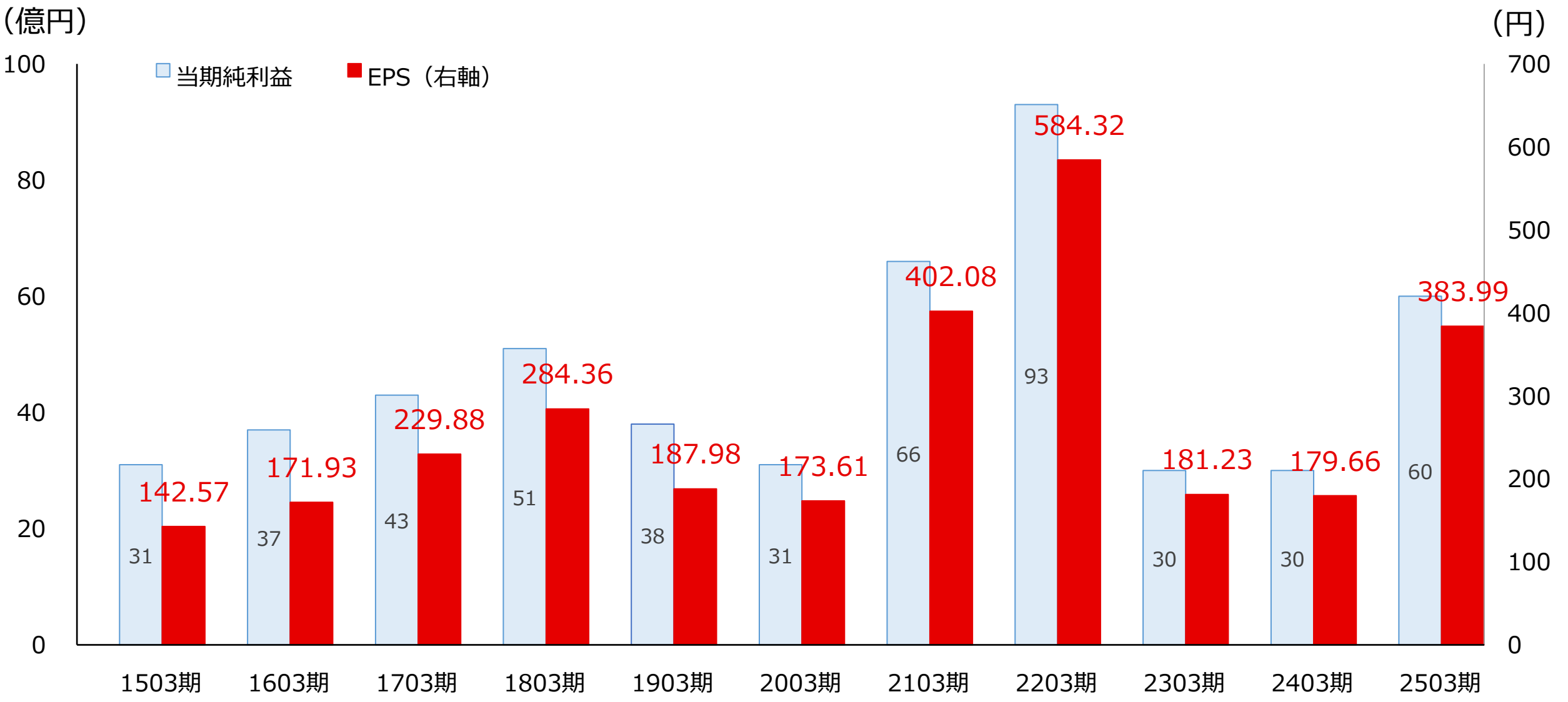
自己株式取得

- 2025年3月期取得実績
取得株式数：149.8万株
取得価額：52.4億円
- 2026年3月期取得実績（2025年5月9日時点）
取得株式数：250万株
取得価額：52億円

自己株式消却

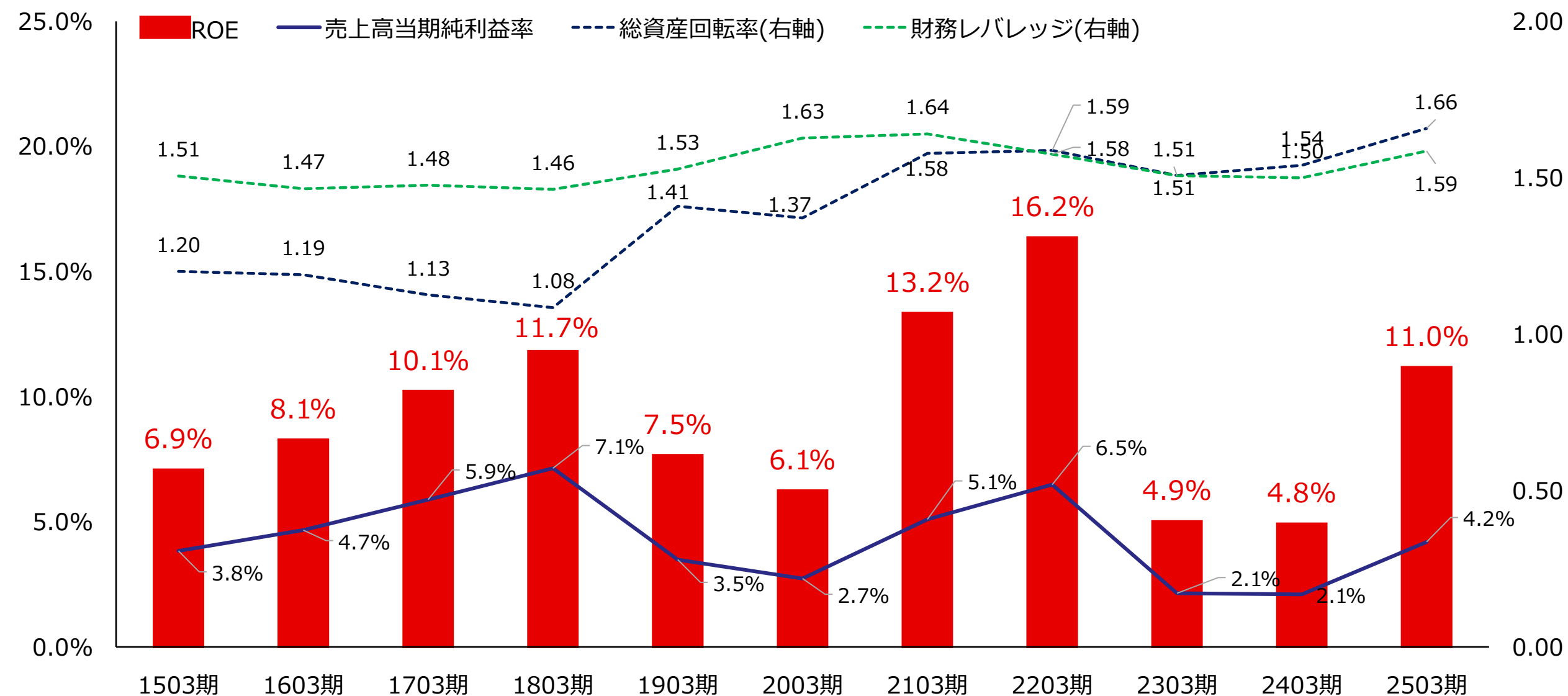
- 消却日：2024年9月27日
消却株式数：163.7万株

当期純利益 / EPS 推移



※億円未満は切り捨てて表示しております。

ROE 推移



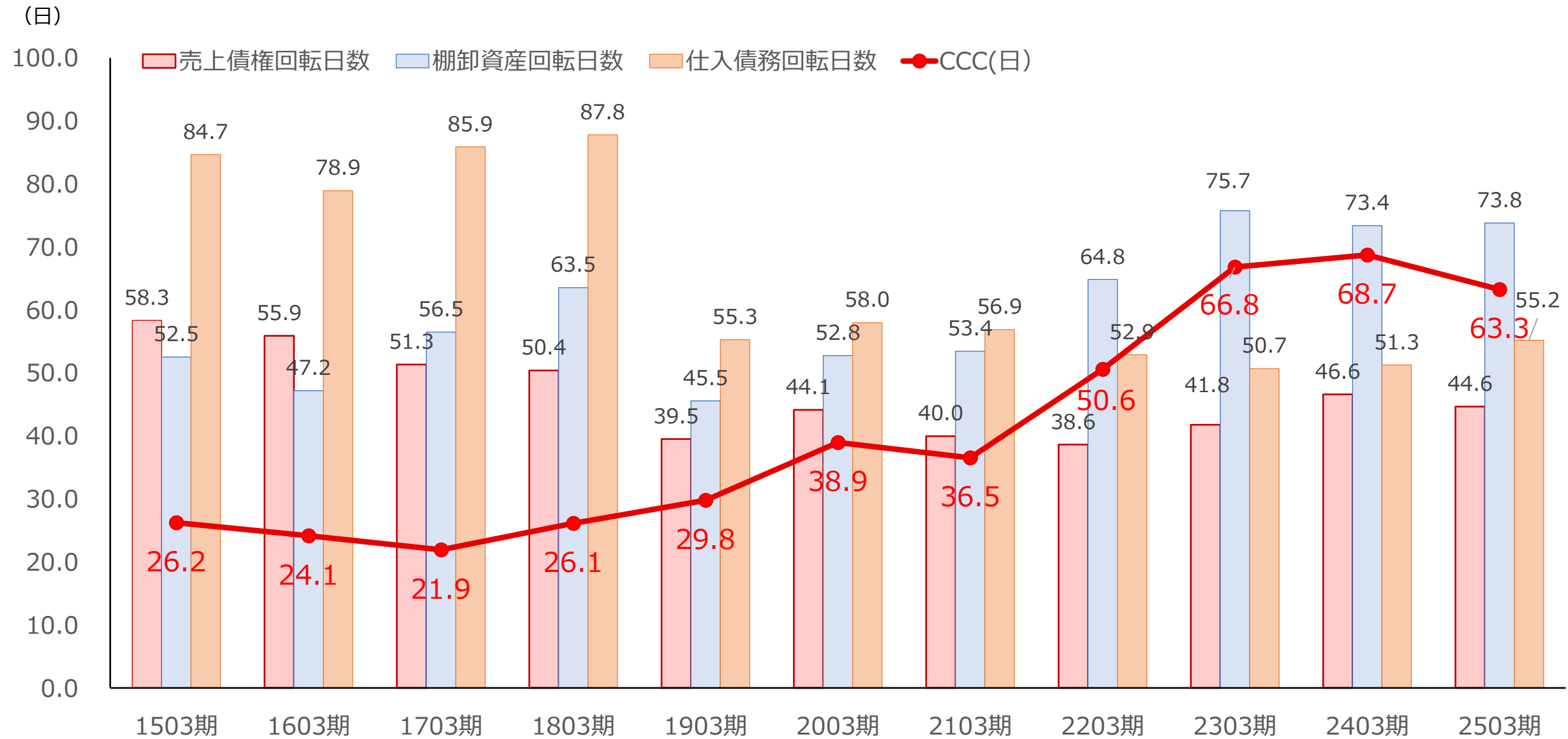
※ROE = 当期純利益 ÷ 自己資本 (期首・期末平均)

※売上高当期純利益率 = 当期純利益 ÷ 売上高、総資産回転率 (回) = 売上高 ÷ 総資産 (期首・期末平均)、財務レバレッジ (倍) = 総資産 (期首・期末平均) ÷ 自己資本 (期首・期末平均)

※2019年3月期より「税効果会計に係る会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第28号 2018年2月16日改正)を適用しております。

当該会計方針の変更は遡及適用され、2018年3月期以前のROEは、遡及修正後の数値に基づき計算しております。

キャッシュコンバージョンサイクル 推移



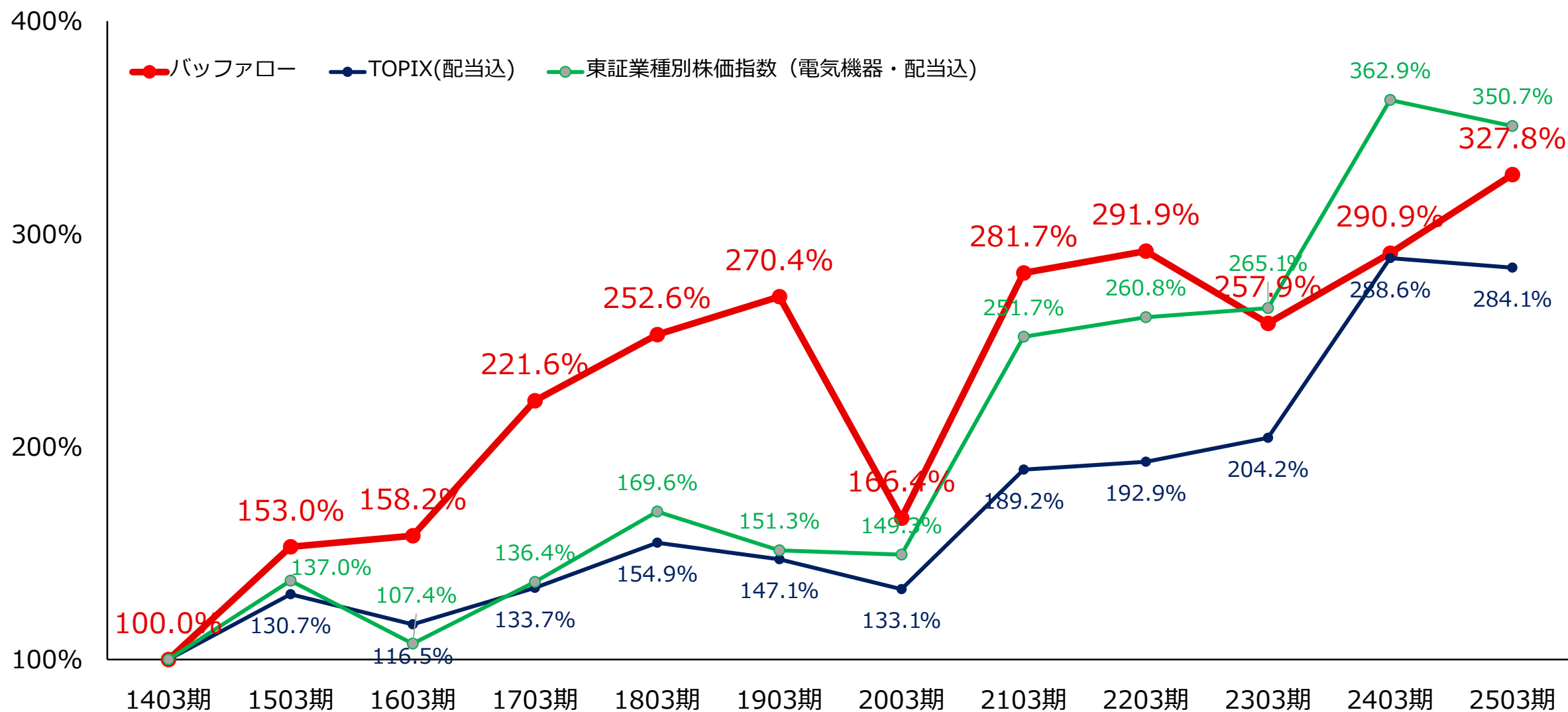
※キャッシュコンバージョンサイクル(CCC) = 売上債権回転期間 + 棚卸資産回転期間 - 仕入債務回転期間

売上債権回転期間 (日) = 売上債権 ÷ 売上高 × 365

棚卸資産回転期間 (日) = 棚卸資産 ÷ 売上原価 × 365

仕入債務回転期間 (日) = 仕入債務 ÷ 売上原価 × 365

株主総利回り（TSR）推移



※2014年3月31日の終値を100とした配当込株価(指数)

※2025年3月期バッファローのTSRは、年間配当金120円を想定、シマダヤ株式会社の株式の現物配当（株式分配型スピンオフ）1,880円/株を含む。

会社概要/グループ会社

株式会社 バッファロー



設立	1986年（昭和61年）7月1日
資本金	10億円
売上高	連結 1,431億70百万円（2025年3月期実績）
従業員数	658名 グループ連結1,042名（2025年4月1日現在）
グループ企業	会社数 14社 / 国内11社、海外3社（2025年4月1日現在）
本社所在地	東京本社：東京都千代田区丸の内 名古屋本社：愛知県名古屋市中区大須



IT関連事業

 株式会社バッファロー	デジタル家電及びパソコン周辺機器の開発・製造・販売及びデータ復旧サービス	 株式会社バッファロー・IT・ソリューションズ	ネットワーク関連機器及びパソコン周辺機器の販売、インフラの構築・保守
		 株式会社バイオス	ストレージ関連製品の開発・製造・販売
 シー・エフ・デー販売株式会社	パソコンパーツ及び周辺機器の開発・製造・販売	 Advanced Design Corp. アドバンスデザイン株式会社	データ復旧/消去/変換サービスなど
 株式会社デジオン	ネットワーク・ストレージソフトウェアの開発・販売	 株式会社DELA	音響機器及び関連製品の開発・販売会社
 株式会社トゥーコネクト	ダイレクトマーケティング事業	[海外] BUFFALO AMERICAS, INC. 他	

免責事項

- 本資料の作成は、正確性を期すために慎重に行っておりますが、完全性を保証するものではありません。
- 本資料中の情報によって生じた障害や損害については、当社は一切責任を負いません。本資料中の業績見通しならびに将来予測は、本資料作成時点で入手可能な情報に基づき当社が判断したものであり、潜在的なリスクや不確実性が含まれています。
- そのため、事業環境の変化等の様々な要因により、実際の業績は記述されている将来見通しとは異なる結果となる可能性があることをご承知おきください。

＜お問合せ先＞

株式会社バッファロー 社長室

<https://www.buffalo.jp>

E-mail : ir@buffalo.jp

TEL : 050-5830-8865